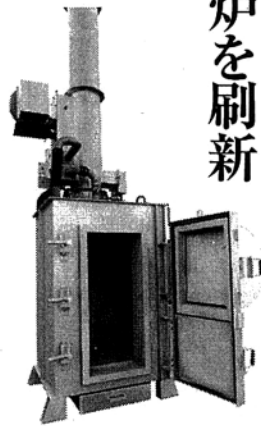


製品紹介

廃プラ焼却炉を刷新

DAITO



新発売のSPZ-400モデル

DAITO(本社・愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)はこのほど、耐火材を発売。物流業界へのPPIIを基本・構造設計式の廃プラスチック対応Rを強化している。既存の「MDZ」「MD」チェンジを函った。

全面開放扉タイプのSPZ、強力消煙タイプのSPIIの特長は、①燃焼用エアのバランスを見直し燃費効率を向上②鋼板、耐火材壁の厚みを増し耐久性をアップ③本体と扉との隙間から出る未燃焼ガスを大幅にカット④標準装備タイマーによる焼却後の冷却運転で、バーナーをはじめとする機器類を保護——など。初年度販売目標は合計2台。製品は焼却炉の構造に關する全ての法規制に適合。全国の展示会で燃焼テストや実機を見学できる。問い合わせ先は同社お客様窓口、電話0120(21)3136。(谷 應)

①燃焼 1時間当たり18キログラムのS
②鋼板 PZ-200、SPII
③本体 200がそれぞれ198万円、178万円。同29
④標準装備タイマーによれ248万円、228万円(いずれも税別)。運

(谷 應)